

2024年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 菊川 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回	オリエンテーション 色の三属性①	色彩検定について、有彩色と無彩色	
第2回	色の三属性②	色相・明度・彩度とは	
第3回	PCCS①	色相環作成、等色相面、色立体	
第4回	PCCS②	トーンとは	
第5回	PCCS③	トーンのイメージ	
第6回	色彩調和①	色相配色	
第7回	色彩調和②	トーン配色	
第8回	色彩調和③	アクセントカラー、セパレーション、グラデーション	
第9回	色の心理的効果①	色の寒暖、進出後退、膨張収縮、軽重など	
第10回	色の心理的効果②	色の連想と象徴、色相別心理効果	
第11回	色の視覚的効果①	対比	
第12回	色の視覚的効果②	同化、色陰現象など	
第13回	色名	基本色名、系統色名、慣用色名など	
第14回	配色イメージ	色の三属性と配色イメージ	
第15回	光と色①	光とは、分光分布、照明	
第16回	光と色②	反射、透過、分光反射率曲線	
第17回	光と色③	屈折、干渉、回折、散乱	
第18回	目のしくみ	網膜、視細胞	
第19回	混色①	加法混色、加法混色の三原色	
第20回	混色②	減法混色、減法混色の三原色	
第21回	混色③	混色を利用した身近な例	
第22回	ファッションと色	ファッションと色のかかわり	

2024年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 菊川 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的のストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋カトレニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ヨガマット						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第23回	インテリアと色	インテリアにおける色	
第24回	検定直前対策①	過去問題を使った直前対策、Q&A	
第25回	検定直前対策②	過去問題を使った直前対策、Q&A	
第26回	色相環作成	雑誌やチラシなどの写真を使い、色相環を作成する	
第27回	コラージュ作成①	配色イメージの知識を使ってファッションやメイクなどのコラージュ作成	
第28回	コラージュ作成②	第27回の続き	
第29回	コラージュ発表	第27回、28回に作成したコラージュを発表	
第30回	定期試験	定期試験	
第31回	ハンドトリートメントとは	ハンドトリートメントの特徴や目的 禁忌 タオルセッティング	
第32回	実習	手技の基本を知る	
第33回	相モデル	トリートメント（前半）手技 確認 練習	
第34回	相モデル	トリートメントの練習（前半）	
第35回	相モデル	トリートメント（後半）手技 確認 練習	
第36回	相モデル	トリートメントの練習（後半）	
第37回	相モデル	トリートメント 15分通して	
第38回	相モデル	トリートメント 15分通して（仕上げ）	
第39回	相モデル	15分通して練習 各自確認	
第40回	試験	相モデル 両手15分 前半後半に分かれて一斉に行う	
第41回	精油の扱い方を知る	精油の使用法・注意事項・アロマセラピーでの禁忌	
第42回		実習：フェイシャルスチーム・バスソルト	
第43回	精油の生い立ちを知る	精油の抽出部位・精油の抽出方法	
第44回		実習：植物性シャンプー	

# 2024年度 シラバス

<b>科目名</b>	美容モード理論	<b>区分</b>	選択	<b>授業時数</b>	105時間	<b>対象学年</b>	1年
<b>担当教員</b>	阿部 奥田 門田 菊川 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	<b>実務経験</b>	無				
<b>学修内容</b>	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的のストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。						
<b>到達目標</b>	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。						
<b>授業の方法</b>	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋カトレーニングを行う。						
<b>成績評価の方法と基準</b>	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
<b>授業時間外に必要な学修の具体的内容</b>	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
<b>使用教材</b>	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ヨガマット						
<b>履修に当たっての留意点</b>	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						

## 各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第45回	アロマリラクセーション1	植物性オイルの種類と特徴・オイルトリートメントの効果	
第46回		実習：トリートメント用オイル（ボディ）	
第47回	自然の香りでスキンケア1	ブレンドする時の精油の濃度・数滴の計算の仕方	
第48回		実習：ローション	
第49回	自然の香りでスキンケア2	人間の脳と嗅覚	
第50回		実習：クレイパック	
第51回	自然の香りでスキンケア3	フェイストリートメント 顔と首の筋肉・トリートメントの方法	
第52回		実習：トリートメント用オイル（フェイス）	
第53回	中世ヨーロッパ 魔法の水	香り歴史	
第54回		実習：ハンガリーウォーター	
第55回	香りでお口のエチケット1	精油の安全性	
第56回		実習：マウスウォッシュ	
第57回	しなやかな髪をあなたに	アロマに役立つ解剖・生理学 呼吸器とアロマ	
第58回		実習：ヘアパック	
第59回	アロマリラクセーション2	アロマに役立つ解剖・生理学 循環器とオイルトリートメント	
第60回		実習：オイルトリートメント練習	
第61回	清潔な安らぎをお部屋に	ルームフレグランスと香りの心理	
第62回		実習：エアーフレッシュナー	
第63回	大切なシーンを彩るために	パフュームの知識・香りのノート	
第64回		実習：オリジナルパフューム	
第65回	香りでお口のエチケット2	精油に含まれている成分	
第66回		実習：歯磨き粉	

2024年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	阿部 奥田 門田 菊川 倉津 清水 中澤 中西 藤井 藤本	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的ストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋カトレニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ヨガマット						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						
<b>各コマにおける授業計画</b>							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第67回	自然の香りでスキンケア4	復習					
第68回		実習：クリーム					
第69回		アロマセラピーに関する法令 後期試験					
第70回		実習：ハーブティ					
第71～83回	ラップブロー テンションブロー	サスンヘアカットコンテスト1次予選に向けての ブロー技術習得					
第84～95回	ヘアアレンジ	校外イベントで使用できるヘアアレンジ技術の習得					
第96回	柔軟性チェック ストレッチ	運動についてクイズ形式の座学を行う。 簡単な筋力・柔軟性チェックを行い、今の体の状態を知る。 各部位のストレッチ法を学び全身を伸ばす。					
第97回							
第98回	綺麗な姿勢の作り方	姿勢についてクイズ形式の座学を行う。 そのあと、坐位・立位での印象が良く見える姿勢のポイントを ひとりずつチェックする。 それをもとにストレッチと自重トレーニングで全身を整える。					
第99回							
第100回	フットケア ハンドケア	二人組になりフットとハンドケア。 ハンドのみオイルを使用し、指先から肘までをケアする。 フットは着衣のまま仰臥位と腹臥位で膝から下をケアする。					
第101回							
第102回	セルフ・ ペアストレッチ 自重トレーニング	セルフとペアでのストレッチを行い、自重トレーニングを行う。					
第103回							
第104回	姿勢チェック ペアストレッチ 自重トレーニング	総復習					
第105回							

## 2024年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	30時間	対象学年	2年
担当教員	藤川	実務経験	無			コース	カラーデザインコース
学修内容	AFT色彩検定公式テキスト1.2級編に準じて授業を行う。また、パワーポイントを使用した授業を行い、色彩の幅広い活用法を学ぶ。						
到達目標	色彩検定1級・2級の合格取得、色彩に関する知識、技能を習得する						
授業の方法	授業は主に講義にて行う						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト1級編、2級編						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容	備 考				
第1回	生活と色	AFT色彩検定公式テキスト2級P4～7に準じた授業 身の回りの色の見え方の理解を深める					
第2回	光と色 光の性質と色	AFT色彩検定公式テキスト2級P8～10に準じた授業 物体の反射の特性などの理解を深める					
第3回	光と色 視覚系の構造	AFT色彩検定公式テキスト2級P11～15に準じた授業 視覚（目）に対する色の見え方の理解を深める					
第4回	光と色/照明	AFT色彩検定公式テキスト2級P16～21に準じた授業 照明の種類や照明の色の見え方を習得する					
第5回	色の表示 マンセル表色系	AFT色彩検定公式テキスト2級P22～27に準じた授業 マンセル表色系について習得する					
第6回	色の表示 マンセル表色系	AFT色彩検定公式テキスト2級P22～27に準じた授業 マンセル表色系について習得する					
第7回	色の表示/色名	AFT色彩検定公式テキスト2級P28～31に準じた授業 色名について習得する					
第8回	色の表示/色名	AFT色彩検定公式テキスト2級P28～31に準じた授業 色名について習得する					
第9回	色彩調和	AFT色彩検定公式テキスト2級P32～43に準じた授業 配色や調和の技法を習得する					
第10回	色彩調和	AFT色彩検定公式テキスト2級P44～51に準じた授業 配色に対する演習や配色イメージを習得する					
第11回	ビジュアル	AFT色彩検定公式テキスト2級P52～57に準じた授業 グラフィック・パッケージデザインの技法を習得する					
第12回	ビジュアル	AFT色彩検定公式テキスト2級P58～65に準じた授業 Webデザインやサイン計画の考え方を習得する					
第13回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト2級P66～69に準じた授業 ファッション分類・流行色について習得する					
第14回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト2級P70～79に準じた授業 ファッション配色、繊維、ショップ売り場について習得する					
第15回	プロダクト	AFT色彩検定公式テキスト2級80～83に準じた授業 プロダクトデザインの配色を習得する					

## 2024年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	30時間	対象学年	2年
担当教員	藤川	実務経験	無			コース	カラーデザインコース
学修内容	AFT色彩検定公式テキスト1.2級編に準じて授業を行う。また、パワーポイントを使用した授業を行い、色彩の幅広い活用法を学ぶ。						
到達目標	色彩検定1級・2級の合格取得、色彩に関する知識、技能を習得する						
授業の方法	授業は主に講義にて行う						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト1級編、2級編						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容	備 考				
第16回	プロダクト	プロダクトデザインの考案。各自で考えたオリジナルシャンプーをプロダクトデザインの観点と配色で作成する					
第17回	インテリア	AFT色彩検定公式テキスト2級84～89に準じた授業 インテリアのスタイルと配色を習得する					
第18回	インテリア	AFT色彩検定公式テキスト2級90～97に準じた授業 インテリアのスタイルと配色を習得する					
第19回	エクステリア	AFT色彩検定公式テキスト2級98～103に準じた授業 エクステリアの環境と色彩について習得する					
第20回	エクステリア	AFT色彩検定公式テキスト2級104～113に準じた授業 住宅のエクステリアの環境色彩、色彩計画について習得する					
第21回	まとめ	2級概要の振り返り、テストガイダンス					
第22回	テスト	2級筆記テスト実施					
第23回	色彩と文化	AFT色彩検定公式テキスト1級4～9に準じた授業 古代ヨーロッパや近代ヨーロッパの色彩について習得する					
第24回	色彩と文化	AFT色彩検定公式テキスト1級10～13に準じた授業 日本の色彩文化について習得する					
第25回	配色イメージ	AFT色彩検定公式テキスト1級86～97に準じた授業 配色イメージの手法について習得する					
第26回	配色イメージ	AFT色彩検定公式テキスト1級86～97に準じた授業 配色イメージの手法について習得する					
第27回	配色イメージ	配色イメージの10テイストのイメージカラーージュを作成 創造力・クリエイティブ力を身に着ける					
第28回	配色イメージ	配色イメージの10テイストのイメージカラーージュを作成 創造力・クリエイティブ力を身に着ける					
第29回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト1級108～111に準じた授業 戦後～近代の流行ファッションの流れについて習得する					
第30回	ファッション	流行ファッション・年代ファッション・ ヘアメイクのカラーージュ作成					